

市民自ら地域イベント立ち上げ
— 楽しく集える場所を —

木々が少しずつ色づき、秋めいてくるころ、普段静かなJR仙石線西塩釜駅遊歩道でライブイベント「西塩釜ストリートライブ」が行われます。

今年で5回目になるこのイベントは、西塩釜駅周辺にお住まいの小野均さんが、東日本大震災でまちが元気をなくしていたので、元気になる催しを行いたいとの思いから始めたそうです。

実行委員長である小野さんは「実行委員会を数人の有志で立ち上げました。イベントに関しては素人でしたので、会場づくりなどいちから準備するのが大変でした」と話されました。今では錦町東災害公営住宅の入居者も足を運ぶなど、このイベントを楽しんでいる方が増えてきています。



▲遊歩道には出店なども並びます



♪ 西塩釜ストリートライブ ♪



西塩釜ストリートライブ
実行委員長 小野均さん

毎年おおよそ23組のバンドによる演奏のほか、出店やフリーマーケットも行っています。「地域住民が楽しく集える場所・機会がもっと必要だと思っています。これから、多くの方が楽しめる催しを企画していきたいです。」と小野さんは意気込みました。

第5回西塩釜ストリートライブ開催!

とき 10月1日(日) 10:00~16:00
ところ JR仙石線西塩釜駅 西側遊歩道

問 西塩釜ストリートライブ
実行委員会 ☎362-14543



港町塩釜のにぎわい
— 仙台藩を支えた海上交通のかなめ —

百 万都市江戸の人々の食生活を、仙台藩の米が支えていました。仙台藩は、加賀藩、薩摩藩に次いで62万石もの石高を誇り、18世紀には実質100万石を超えていたといわれます。北上川や阿武隈川などが流れる仙台平野は水田に適した低湿地帯で、政宗以来、新田開発や流通路の整備を行い、塩釜・石巻などの港から江戸へ米を運び、不足していた米を供給することに成功しました。また、仙台藩の経済は、米を中心とした農村経済に頼っていて、江戸市中に出回る米の約3分の1は仙台産だったといわれます。米の増産や運搬のために貞山堀、四谷堰などの運河や用水路が建設され、城下町仙台へ、米を運ぶ輸送路が整備されました。

シリーズ 日本遺産 「政宗が育んだ“伊達”な文化」と塩釜

塩 釜と蒲生(仙台市宮城野区)を結び御舟入堀工事の無事完成を祈願した燈籠が鹽釜神社にあります。これは、仙台藩の財政を預かる和田織部房長と工事担当者である佐々木伊兵衛が工事の無事を祈願したものです。明治になって発案者政宗の偉業をたたえ、貞山堀と命名されました。

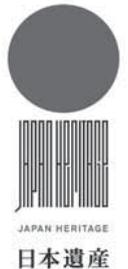
NPOみなとしほがまの高橋幸三郎さんは「大型船が入港できない塩釜の代わりに、風待ちにも適した寒風沢港が重要になってきました。寒風沢島には、幕府の米を入れておく倉(御城米倉)を建て、役人が管理しました。地元の歴史を楽しく調べれば、きっといろんな発見ができますよ。」と話されました。

城下町仙台や江戸・北海道などから、多くの人々が訪れた当時の塩釜のにぎわいを想像してみましょう。

【参考文献「塩釜の歴史」】



NPOみなとしほがま
高橋幸三郎さん



日本遺産

問 生涯学習課学習支援係 ☎362-2556

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。 防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1MHz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

「広報しおがま」は、22,700部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は69円です。

【塩釜市の人口】 H29.8.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	54,855人 (-18人)
男	26,200人 (-11人)
女	28,655人 (-7人)
世帯数	23,284戸 (+3戸)

